

様式 A (住宅ローン減税用：既存住宅の取得後増改築等を行った場合の申告書兼証明書)

<契約事業者において作成の上、申告者にお渡しください>

所轄の税務署の名称を記載下さい。

入居時期に関する申告書兼証明書

申告者が作成する場合

〇〇税務署長 殿

申告者ご自身の氏名を記入して下さい。

**増改築 太郎** は、下記1の家屋(既存住宅)を取得し、その後増改築等しましたが、新型コロナウイルス感染症及びそのまん延防止のための措置の影響を受け、下記2の事情により、当該既存住宅をその取得の日から6か月以内に居住の用に供することができませんでした。

1. 取得した家屋(既存住宅)(※1)

所在地、種類、総(床)面積は、家屋の登記事項証明書に記載された内容を転記して下さい。マンションの場合は、専有部分の床面積を記入して下さい。

所在地 : 東京都千代田区〇〇〇

種類 : 居宅

総(床)面積 : 75.89 m<sup>2</sup>

2. 新型コロナウイルス感染症及びそのまん延防止のための措置の影響を受け、当該既存住宅をその取得の日から6か月以内に居住の用に供することができなかった事情

(該当する□にレ印を入れてください。複数回答可)

- 外出自粛や事業者の営業自粛等により、増改築等の契約手続きが遅延したため
- 住宅設備機器の納入遅れや事業者の工事自粛等により、増改築等の工事が遅延したため
- 工事完了後、外出自粛等により、入居が遅延したため
- その他(下記に事情の詳細を記述して下さい。)

1つしか該当しない場合でも特例の対象となります。いずれの選択肢にも当てはまらない場合は、新型コロナウイルス感染症やそのまん延防止のための措置の影響により入居が遅れた事情をなるべく詳細に記載して下さい。

3. 増改築等完了の年月日及び居住開始の予定年月日等(増改築等完了の日から6か月以内に居住開始をしている必要があります。)

増改築等完了の年月日 : 令和 2年 6月 1日

居住開始の予定年月日(契約事業者が記入) : 令和 \_\_\_年 \_\_\_月 \_\_\_日

実際に居住開始をした年月日(申告者が記入) : 令和 2年 11月 5日

空欄で差支えございません。

上記の内容について証明します。なお、実際に居住開始をした年月日は、後日申告者が記入します。

増改築等の契約事業者

令和 \_\_\_年 \_\_\_月 \_\_\_日 住所

TEL: \_\_\_\_\_

氏名又は名称

印(※2)(※3)

※契約事業者の署名捺印がない場合には、申告者が署名捺印を行います。

上記の内容に相違ないことを約します。

申告者 令和 3年 〇月 〇日 住所 東京都千代田区〇〇〇

氏名 増改築 太郎

印